

令和5年度ウエスコ財団優秀研究者賞

第8回目となる令和5年度ウエスコ財団優秀研究者賞は、以下の2名に決定しました。

① 山内 明 （川崎医科大学 生化学教室 教授）

【研究題目】 「新しい細胞動態評価法でスクリーニングした抗腫瘍薬の応用」
：平成30年度・令和元年度・2年度研究活動費助成事業

山内明氏は、生化学の研究者で、癌細胞の新しい細胞動態評価方法を確立し、得られたデータをもとに癌転移を抑える物質を特定する研究を行っています。その研究の中で、膵癌細胞の走化性を抑える化合物をスクリーニングし、マウスを用いた実験で腫瘍増大の抑制効果と転移抑制効果を確認しました。現在、研究成果の一部で特許を取得し、製薬会社とのマッチングを進めています。今後は、開発が遅れていた膵癌に対する抗腫瘍薬の実用化が期待されます。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

② 千住 洋介 （岡山大学 異分野基礎科学研究所 研究准教授）

【研究題目】 「アスガルド古細菌から紐解く細胞形態の制御機構の分子進化」
：令和2年度研究活動費助成事業

千住洋介氏は、生物物理学の研究者で、真核生物に近い系統と考えられている、アスガルドと命名された新規古細菌に着目し研究を行っています。その研究の中で、アスガルド古細菌のいくつかのタンパク質を人工遺伝子合成し、タンパク質精製・結晶化に成功しました。さらに、精製したタンパク質の結晶構造を解き、機能を解明しました。今後は、分子進化から真核生物誕生の鍵を握る細胞膜ダイナミクスの起源の解明が期待されます。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

令和5年度ウエスコ財団優秀研究者賞の表彰式と受賞者講演会は、2024年6月6日にANAクラウンプラザホテル岡山で行われ、表彰状とともに副賞（研究奨励金30万円）が山内明氏と千住洋介氏に贈呈されました。



左より山内氏・山地理事長・千住氏

その後、受賞者による講演会を行いました。



山内明氏の受賞講演



千住洋介氏の受賞講演